

# ◎ 目的

◎ 情報活用

◎ <sup>既存の</sup>紙クーポンを BCクーポンにする

- キ ◎ 地域通貨 ◎ 自治体ポイント ◎ 自治体・地域を元にした
- ウ ◎ ボランティアポイント ◎ おりがとうポイント ◎ クレジットポイント
- エ ◎ エコポイント ◎ 納税 ◎ マイレージ

# ◎ 必要性 背景 課題

・地域に還元

・社会活性化  
人間関係改善

・今はされてない

・紙は受け取って  
使わなかったら終わり

# ◎ ポイント

・多様なクーポン・ポイントを繋げる

・共通ルール、個別ルールを入れる

・新しい制度の創出

# ◎ ターゲット

- ・地域市民
- ・旅行者

# ◎ 仕組み

## 基本

人が (クーポンポイント)

## 応用

- ・誰か使うか
- ・何をしたらあげ
- ・使う場所
- 組織・所属情報

④ ターゲット、どんな人のため

地域事業者、生活者

・旅行者、訪問者、外国の方

④ 仕組み

基本

人が「フーポイント」をBCで移動

アグター

人、システム  
組織

応用

規格とあらかじめ決めておく

誰が使うか

何をいついつに獲得したか

使う場所

組織、所属情報取得してくる

スマート  
コントラクトで  
倍率と付帯  
計算

社会 14小、15選

地域に還元

- ・今はさんてな、
- ・紙は受け取って  
使わなかったら返せ

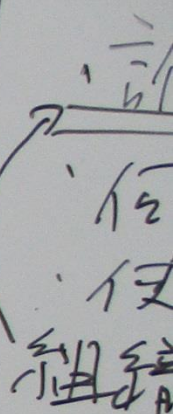
- ・社会活性化
- ・人間関係改善

ポイント

- ・多様なクーポン・ポイントを繋げられる

- ・共通ルール、個別ルールを入れられる
- ・新しい制度の創出

応



タイトル

既存のクーポン、地域通貨をブロックチェーンクーポンにする

チーム名

この企画によって達成したいこと・目的 (What)

地域通貨、自治体ポイント、店舗ポイント、工場ポイントがある  
ものの、ポイントの種類が多すぎてはいるが地域活性化や地域  
全体の活性化に利用範囲が狭い。弊がある。

このクーポン・ポイントは背景、目的、価値を異にする。今まで統合  
できない。ブロックチェーン利用価値の付加を目的として整理

なぜ、この企画が必要なのか？社会的背景や課題 (Why)

紙のクーポンは受け取りを余り使用できない。電子化してポイント  
の統一や合算が便利になる程度でポイントの付加、総額  
の利用可能範囲は地域社会の活性化と繋がっている。

ターゲット・どんな人のためにやるのか (Who)

地域事業者、生活者、旅行者、訪問者、外国人旅行者

どのようにやるのか？ (How)

仕組みや実現方法：

(導入) 既存のクーポン/ポイントとブロックチェーンで連携する。

(開発) 人・システム・組織

(活用) 各ポイントの人が使うのに共通の規格を課税の決済

ポイントの獲得に場面に応じてスマートコントラクトで  
倍率や付帯計算する。

収益化モデル：

地域通貨とポイントの差をどうにか両方両方の見極め  
する。

ブロックチェーンや DLT の特性を利用するポイント

・多様なクーポン・ポイントと連携できるようにする。

・人口のルール / 共通ルールを折衷して決める。

タイトル.

安心な寄附システム

(仕組み)

目的. <sup>コストの低い!</sup>  
信頼の基となる 安心である.

・ 価値

・ 便益

・ 額

寄附文化の定着

・ 団体

背景. 課題.

① 正しく行なわれたか不安である

アンケート

① 寄附したい人